



議会だより



3密(密閉・密集・密接)回避で万全の入学式



3月定例会議 No.201

令和2年5月1日発行

- ・ 3月定例会議で予算審議
新時代を歩むサステイナブル予算 2～7
- ・ 町政を問う！一般質問に10名が登壇 8～13
- ・ 随時会議で議案審議・委員会報告 13～14
- ・ 各種団体との懇談会開催 15

1,280万7千円

新規



町民センター図書室をリニューアル

1階には児童書をメインとしたキッズライブラリーを新たに整備し、子ども同士や親子が、靴を脱いでゆったりとくつろぎながら本に親しむ環境を作ります。3階には学生等を対象とした、学習室を整備し、従来の図書室は、閲覧スペースや蔵書の充実を図ります。

1,235万3千円

拡充



文命中学校改修工事に向けて

文命中学校の教育環境の向上・充実及び長寿命化を図るため、令和3年度からの改修工事に向けた調査・設計を行います。

2,449万8千円

拡充



妊婦の健康管理及び産後ケアの充実

妊婦健康診査の公費助成を14回実施し、今年度から助成総額を8万円に増額します。産後ケア事業の対象者を出産後1年未満の母子に拡大し、仲間づくりや外出機会として、母子で集える場所を提供するデイサービス型のサロンを年間20回開催します。

2,308万3千円

拡充



北部地域のさらなる活性化

北部地域の交流人口を増加させるため、前年度に整備した交流拠点施設及び駐車場の拡大などを生かして、周辺施設等とのネットワーク構築による周遊性や魅力の向上を図ります。また、瀬戸屋敷主屋の茅葺き屋根を4年かけて修繕していきます。

4億7,195万5千円

協働



小規模保育施設の整備

幼児教育無償化の実施により、益々高まる保育需要に対応するため、特に0～2歳児を対象とした小規模保育施設の新規整備をし、あわせて事業者の募集を行います。

99万6千円

協働



町民活動サポートセンターの設置

自治会やボランティアなど、町民の皆さんの自主的・自立的な公益活動を支援するための町民活動サポートセンターを設置します。10月開所に向けて、多くの方が利用しやすいように、利用者の皆さまと共に考え、共に創ります。

「新時代を歩む サステナブル予算」

※サステナブルとは？ 「持続可能な」という意味

令和2年度一般会計予算

60億8,800万円

3月定例会議で町長から令和2年度予算の趣旨説明を受けました。予算特別委員会で審議し可決した主な事業は2～3ページ、質疑の内容は4～5ページに掲載しております。

3月定例会議



令和2年度会計別予算額

【単位：千円】

会計名		本年度 予算額	前年度 予算額	比較
一般会計		6,088,000	7,635,000	△ 1,547,000
特別会計	国民健康保険特別会計	1,574,849	1,626,936	△ 52,087
	介護保険事業特別会計	1,148,567	1,095,105	53,462
	給食事業特別会計	99,450	92,371	7,079
	後期高齢者医療事業特別会計	238,519	209,553	28,966
会企 計業	水道事業会計	551,987	549,916	2,071
	下水道事業会計	850,088	836,925	13,163
合計		10,551,460	12,045,806	△ 1,494,346

4億1,415万2千円

継続



新庁舎供用開始

整備を進めてきた新庁舎がついに完成し、5月連休明けから業務を開始します。新庁舎では職員が動いて対応するワンストップサービス等により質の高いサービスを提供します。また、旧庁舎の解体、駐車場整備など周辺環境整備も実施します。

令和2年度 主要事業を ピックアップ アツプ

予算特別 委員会質疑



当初予算は、議長を除く11人で構成する予算特別委員会で集中審議をしました。

特別委員会は、特定の案件を審議あるいは調査するために議会の議決に基づいて設置される委員会で、重要な議案を扱ったり、重要な問題を調査します。

新年度予算のここが聞きたい！！

2050年温室効果ガス 実質排出ゼロに向けて

問 「2050年温室効果ガス（二酸化炭素）実質排出ゼロ」を宣言され、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）庁舎を造った以上は本気で目指してやっていくと思うが、令和2年度の予算の中で、環境関連の予算が少なく感じている。



環境に配慮した電気自動車

答 新庁舎は防災の拠点だけでなく、環境に優しい庁舎を目指し、結果的に日本の公共施設では初のZEB認証を受けることができた。令和2年度は自動車会社と災害協定を結ぶなど、できることから取り組む。また、町が環境施策に取り組み前から、消費者の会では廃油の回収をしたり、マイバッグを持参したりと、町民の方の意識が高いので、この新庁舎を機に町内の環境施策に取り組む。

給食費値上げの経緯は

問 来年度から給食費の保護者負担分を上げた経緯は。

答 令和2年4月から、幼小・中学校の給食費を月額300円ずつ値上げさせていただいた。主な要因として物価の上昇と来年度から新学習指導要領が全面実施に伴い、授業時間数を確保しなければならず、夏季休業を短縮して対応するため、給食の回数が増加となる。



良いような形にする。



開成ブルー

町の花あじさい 今後の取り組みは

問 当初予算の趣旨説明でも美しいあじさいを見てもらいたいと説明されたが、対前年度の予算と比べるとほぼ変わらない。例年どおりでカバール通りの補充をし、見栄えが

答 今年度まではあじさいの植え替え工事を主に実施していたが工事が一段落した。令和2年度は、開成ブルーの増株に取り組み、同時にアナベル通りの補充をし、見栄えが

サイクリングコースの一部が移管 管理体制は



酒匂川のサイクリングコース

問 酒匂川のサイクリングコースの一部が本町に移管された。数年前に自転車での死亡事故も発生したことがあり、管理責任の問題がある。今後、どのように管理していくのか。

答 予算には草刈作業だけでなく、保険料も計上している。それよりもまず、事故がないように安全に利用していただくことが一番大事である。今現在まで、路面の補修や新たな標識、案内看板等を整備した。町は管理責任者というような形になるので、職員等による巡回等も含めて、維持管理を行っていききたい。

地域集会施設の今後の改修内容は

問 各地域の集会施設で計画的に修繕工事などを実施することだが、令和2年度予算で金井島及び上島公民館のトイレ改修を実施すると決めた要因は。

答 ここ数年では地域集会施設の長寿命化等を図ることを目的に、屋根や外壁の塗装などの施設の躯体の部分を持たせるための改修を実施してきた。地域集会施設の工事が一回りし、令和2年度は自治会要望のあつ



上島公民館

た二つの公民館のトイレ改修を実施し、男女別に分けることやバリアフリー化などの工事を進めていく。

病児保育の 受け入れ状況は

問 病児保育委託事業費について、上郡5町から受け入れることが可能だが、町民で利用を希望している人が全員利用できているのか。

答 インフルエンザが発生する11月、12月頃になると満員で受けられず、お断りをさせていただいたという報告はあるが、申し込みをされた方はほぼ受け入れられている。



産業集積ビレッジ構想進捗状況は

問 産業集積ビレッジ構想の現状は。

答 足柄産業集積ビレッジ構想は北側地域、南側地域に分けて施工していくことが決定されている。本町では該当する南側地域となっているが、

まず先行すべきは北側地域ということで、南足柄市単独で先行させていく事業方針になっており、北側地域の事業進捗を見守っていく中で、適宜、地権者の方に情報提供していく。



町の企業誘致予定地



何度も議論が行われた現庁舎の議場

令和2年開成町議会3月定例会議議案審議結果

提出	議決日	議案名	審議結果	前田せつよ	井上慎司	石田史行	山本研一	井上三史	星野洋一	茅沼隆文	湯川洋治	武井正広	佐々木昇	下山千津子		
町長	3/4	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (◆委員のうち1名の任期が令和2年6月30日をもって満了となるため、引き続き同人を法務大臣へ推薦)	異議なしとして議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		開成町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて (◆会計年度任用職員について、任用形態や任用手続きに応じた方法によりサービスの宣誓を行うことができるようにするため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		開成町現業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて (◆現業職員の定義を明確にするとともに、条例中の法律の条項を引用する規定を整理するため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		開成町放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて (◆放課後児童支援員資格者の配置及び確保を進め、放課後児童健全育成事業の安全な運営を図るため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		開成町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて (◆災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害援護資金の貸付けを受けた者の収入又は資産の状況についての報告等に係る規定を整備するため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3/5	令和元年度開成町一般会計補正予算(第6号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和元年度開成町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和元年度開成町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和元年度開成町水道事業会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和元年度開成町下水道事業会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議員	3/16	令和2年度開成町一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			令和2年度開成町国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和2年度開成町介護保険事業特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和2年度開成町給食事業特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和2年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度開成町水道事業会計予算について			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
町長	3/16	開成町議会委員会条例の一部を改正する条例を制定することについて (◆組織・機構の見直しが実施されることに伴い、各常任委員会の所管する部名等が変更されるため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		開成町議会会議規則の一部を改正する規則を制定することについて (◆新庁舎移転に伴う議会議場設備の変更により、表決方法等を改正するため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		松田町外二ヶ町組合規約の変更に係る協議について (◆第二東海自動車道の建設事業により組合所有地が追加買収され、所有地の面積が減少したことに伴う変更)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		財産の取得の変更について (開成町新庁舎什器等購入事業(債務負担)) (◆什器配置レイアウトの見直しを行い、購入する什器の変更等)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

◆議案の要約 ※吉田敏郎議長は採決に加わらない。 ○は賛成した者 ●は賛成しなかった者 「除」は除斥 「欠」は欠席

※本会議の詳細質疑は、議会のホームページに掲載しております。

開成町議会



人事案件・選挙

3月定例会議

○松田町外二ヶ町組合 議会議員の選挙

遠藤 好信氏(金井島)

河上 成満氏(延沢)

井上 雅一氏(吉田島)

杉山 隆夫氏(吉田島)

〈全員異議なしで当選〉

○人権擁護委員候補者の推薦

辻村 進氏(吉田島)

人権擁護委員のうち1名の任期が令和2年6月30日をもって満了となるため、引き続き同人の推薦。

〈全員異議なしで議決〉



現庁舎での定例会議は今回が最後でした(写真は日曜議会)

補正予算等

○令和元年度一般会計補正予算(第6号)

国からの補助金を活用し、町立学校ネットワーク整備設計委託料を計上。この事業では、小中学校で既存のICTネットワーク環境を再構築し、令和5年度までに全学年の児童・生徒一人ひとりがICT環境端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指す「GIGAスクール構想」を進める。

また、夏場の猛暑や台風等の関係でグリーンリサイクルセンターの搬入量が増えたことによる運営事業費の利用料金減免分の補償金を計上。



○令和元年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

居宅介護サービスや介護予防に係るトイレや手すり等の住宅改修、介護サービスを受けるためのケアプランに係る給付件数が当初の見込みよりも増加したことから増額補正。



○財産の取得の変更について

新庁舎什器等購入事業について、購入不要となったもの、数量が変更となったもの、メーカーにおいて、品番・使用等が変更となったものの三つに区別され、転用可能な什器を含め、什器配置レイアウトの見直しを行った。

新しい議場で

採決方法等が変わります

新庁舎の議場では、町民の方がより傍聴しやすい環境づくりをしています。

●電子採決システムの導入

議案等の採決を行う際、これまで「起立による表決」でしたが、新しい議場では「電子表決システム等による表決」に変わります。

これにより、新しく設置された議場内のモニターに各議員の賛否一覧が表示され、表決を確認しやすくなっています。

●傍聴席の増加及び車イス席の設置

最大25名まで座れる傍聴席から新しい議場では31席(車イス2席を含む)確保しています。あわせて議場に入場するまでの段差をなくし、バリアフリー化に努めました。また、難聴者の方へ対応として、イヤホンジャックを備えているイスを設置しています。



今までは傍聴席に段差がありました。



町政を問う 一般質問

※ 一般質問：議員が町の行政について質疑し、町側に答弁を求めるものです。

※ 質問者本人の原稿をもとに、広報分科会委員が議事録に基づき校正しています。

風水害における避難体制の強化策を

必要であれば風水害は、ある程度の予測が可能なことから、町は早期の避難計画ができ、個人でも早目の避難行動がとれる。そこで、一人ひとりの年齢、地域、ペットの有無などの生活スタイルを考え、個人の時間軸に合わせて防災行動を計画する「マイタイムライン」がある、特に災害弱者には有効なので、町として啓蒙強化を図るべきである。

あわせて洪水ハザードマップをもとに町そのものを地図とみため、避難所や危険水位などを標識で街中に示す「まるごとまちごとハザードマップ」がある。その構築も重要である。

【問】「マイタイムライン」の進捗状況は。 【答】町のタイムラインを改定した際にモデル地区を選定し進めたい。



前田せつよ 議員

【問】柱がないがどう考えているのか。 【答】蓄光式ではない。みなみ地区は消火栓格納箱に同様の図式で対応している。 【問】みなみ地区だけでも蓄光式にしては。 【答】電柱巻と同様を進める。なお、図式標識と合わせてQRコードの組み込みも考えていきたい。

新庁舎の業務開始準備は万全か

【問】窓口業務において、「受付番号システム」を設置すれば、受付順の正確性と混雑を緩和でき、事務の効率化が図れると思うが。 【答】当面導入は考えていない。

【問】住民異動に係る手続きは多岐にわたるため、ある自治体では「住民異動受付システム」の導入をしたところ、住民の手書きが大幅に削減され、大変に喜ばれている状況があるが。 【答】どれだけの効率化が図れるか次年度以降に考えたい。



新庁舎ではワンストップサービスを開始

開成町の魅力と認知度の向上を



佐々木 昇 議員

将来にわたり元気なまちを維持するために、更に町の魅力を向上し、認知度を高める必要があると考える。

【問】新庁舎へ積極的に視察を受け入れて、町の活性化につなげる考えは。 【答】日本初のZEB庁舎ということで認知度が高まった。これまでも各種講演会等の場を通じて、積極的に情報発信をしてきた。それらが実を結んで、全国から多くの問い合わせや視察の依頼が来ているので、6月を目処に受け入れる方向でお答えをさせていただいている。

【問】今後、関係人口と言われる方が、地域の活性化には非常に重要な役割を果たしてくると思う。町は、こういった方たちとのまちづくりをこれから進めていくということだが、何か動きがあるのか。 【答】予定の話になるが、ロマンスカイ、電車ファン等のテーマを通じて、広報などでそういうものを発信して、新たに町の魅力になり得るものを御紹介し

災害時の大規模停電に対する本町の対応策を問う

昨年10月の台風19号では停電は発生しなかったが、直前9月の台風15号では本町でも約2千500世帯が停電した。停電は12時間程度で回復したが、台風が直撃した千葉県内の自治体では大規模停電が発生し、長期化したことにより住民生活に甚大な支障を来したところである。

【問】役場新庁舎は新たな防災拠点として、大規模停電に対してどのような役割を果たせるか。 【答】新庁舎では電力供給が停止した場合に備え、非常用発電機を設置し、電源供給を可能としている。

太陽光発電分は、主に専用コンセントへの電源供給として利用する計画である。防災行政無線は独自に蓄電池を備え、停電時にも運用できる体制となっている。

【問】町内の広域避難所、福祉避難所に指定されている各施設・地域避難所の電源確保策は。 【答】開成小学校、文命中学校には太陽



石田 史行 議員

ていくような、そういう機会をこれから、さまざまな御意見いただく中で町もアンテナを高めて、広報などに反映していけるように努めていきたい。 【問】本町にあるいろいろな魅力を点として考え、これを線でつなげて、それを面にする。そういった形で、町全体のつながりを持って、町の魅力をPRして町の活性化を進める考えは。 【答】一番核になるのがブランディング戦略である。これまでの成果の中で一番感じているのは、職員の意識がすごく高いこと。今後も職員の意識を高めながら行うことで、結果的に、交流人口も関係人口も増えていくと思うので、ブランディングは大切にしながら、これからもやっていきたい。



あじさいちゃんて町のPR

光発電設備と蓄電池を整備しており、電灯やコンセントに電気の供給を行う体制をとっている。開成幼稚園、開成南小学校、吉田島高校、各地区の地域避難所については可搬型の発電機を配備している。福祉会館は非常用発電機を設置している。今後、可搬型発電機をインバータ式に順次更新する。

【問】自動車会社と連携して災害時の電源確保のために、電気自動車を活用してはどうか。 【答】停電時の有効な電力源として電気自動車の蓄電池としての機能が注目されており、町でも災害発生時の非常用電源として電気自動車の活用策について調整を重ね、県西地域で初めてとなる日産自動車（株）及び町内の日産系販売会社と災害時の連携協定を提携したところである。



電気自動車を活用した災害連携協定締結の様子

高齢者による自転車利用対策は



湯川 洋治 議員

本町の人口に占める高齢者の割合は65歳以上が26%を超えており、高齢化による自転車事故が懸念される。県は神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例を制定している。本町ではこの条例に対し、どのような取り組みをするのか。

問 高齢者の自転車安全対策は。

答 平成20年6月の道路交通法改正により、自転車の歩道通行要件の明確化が図られ安全対策が見直されている。町内での平成30年度中の交通事故件数に占める自転車事故発生率は40.9%と県内ワースト1位という不名誉な結果であった。このため、自転車事故対策を行い、27.3%と減少した。

問 県の条例に対し、町の考えは。

答 昨年4月に条例を施行し、10月1日から自転車損害賠償責任保険等への加入を義務付けている。町では自治会の回覧による周知、9月には独自に交通安全ガイドを作成し全戸配布を行い、交通事故への注意喚起と併せ、自

転車賠償責任保険への加入を呼びかけた。

問 ひとたび事故を起こせば大変な補償問題が生じる。損害賠償責任保険について町はどの程度把握しているか。

答 多種多様な保険があることは確認している。個人賠償責任や自動車・火災保険に付加できる付帯した保険、また学校のPTAを対象とした保険などもあり、町民に周知しながら啓発を進めている。

問 平成28年から令和2年度を計画期間として、第10次開成町交通安全計画を策定しているが今後、計画の改定予定は。

答 現在の計画は令和2年度までとなつている。国が改定を行い、県でも令和2年度改定と聞いている。本町でも課題の検討を図りながら改定したいと考えている。



ライドハンターズin開成が開催されるなど町内では自転車のイベントが多い

プレイパーク事業の現状評価と、今後の展開について問う

近年、公園で遊ぶ子どもたちの姿を見ることが少なくなつたと感じる。

子どもは自然の中でたくさん体験をすることが必要であり、自然と触れ合える場の提供は子どもだけに限らず大人の憩いの場としても重要である。

子どもにとって、遊びは生きることそのものだが、娯楽の発達、大人による安全重視の管理や清潔志向上昇により、子どもたちの遊びを取り巻く環境は大きく変わってきている。

プレイパークは行政と町民が「のびのびと子どもを育てていく」という目的を共有し、現代の子どもたちを取り巻く環境において不足している自由な遊び場と体験の提供、体力向上、非認知能力向上に寄与する事業である。

問 緑陰広場での常設型プレイパーク整備という方向で気持ちを固めているのか。

答 緑陰広場の土地の購入経緯からして、子ども関係のものを準備したいが、現時点ではまだ確定していない。



井上 慎司 議員



プレイパークの推進を

問 中家村公園での常設化・定期開催は。

答 確かにそれはあるが、南部から北部（緑陰広場等）に行くのが不便であれば巡回バスもあり、それを土日も含めて検討していくことで解消できる。

問 農村公園の維持管理に関する覚書を自治会と交わしてから15年経っているが、明確な自治会との取り決めを交わす必要があるのではないか。

答 細かいところは十分に把握していないところもある。意見交換をして、覚書の内容について確認していきたい。

問 プレイパーク事業には大きな可能性が秘められている。この施策を力強く推進しては。

答 大変重要な事業だと認識している。人材育成も含めて伸ばしていきたい。

これからの福祉政策を問う



井上 三史 議員

今後、65歳以上の認知症高齢者が増加して、65歳以上の単独世帯や夫婦のみ世帯が増加していくことが考えられる。要介護率が高くなる75歳以上の人口も急速に増加する。

誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を願い、新たな時代に対応した福祉の提供が求められている。

問 地域共生社会の実現を図るには。

答 町民誰もが地域のさまざまなつながりを大事にして、社会から孤立せず、安心して生活を送ることができると地域共生社会を目指すことは重要なことである。来年度は、開成町福祉コミュニティプランの改訂年度に当たするため、さらに地域共生社会の実現の考え方を深化させ、計画の中に反映する。

問 地域ケア会議の課題は。

答 地域ケア会議の個別会議で抽出できた課題が、地域ケアねつとわく会議の取り組みにつながらないという問題がある。本人の特技や介護保険給付外サービスのひもづけや、本人が必要

としているサービスは、地域にある支援と合致するのかが等を把握できる「見守り確認票」を作成し、新年度4月から活用する。

問 「みんなで育もう！誰もが安心してイキイキと暮らせる福祉のまちがいせい」を実現するには、今後重点となる必要施策は何か。

答 地域共生社会という言葉がキーワードになる。母子、子供、障がい者高齢者の垣根を超えて相談できる体制と交流拠点づくり。地域の方が地域の実情に応じて、地域の福祉の担い手であるいは受け手、これに参画する体制づくり、この2点が町の役割である。



町福祉コミュニティプラン

酒匂川の氾濫から町を守るための対策を

昨年10月の台風19号は史上最大規模となり、全国71河川で140箇所以上の堤防が決壊した。本町でも水辺スポーツ公園が冠水し、被災後約5ヶ月が経ち、改めて酒匂川や町内河川の状態を見ると流木や護岸の崩れなど、その爪痕が至る所に残されている。これまでの事実や経験をもとに被害を最小限に食い止める減災の取り組みが今こそ重要と考える。

問 水辺スポーツ公園付近の土砂堆積（2.3m）を見聞で確認しているが現状は。

答 木や護岸の崩れなど、その爪痕が残されていることはない。

問 過去の水害教訓をどのように対策に生かしているのか。

答 町水害対策検討結果報告書を作成した。昨年の台風19号の警戒でも、事前に把握している危険箇所を地図に落とし、重点的にパトロールを行っている。

問 河川管理者（神奈川県）への河床

掘削の要請とその整備計画はどのようなものか。

答 被災後、治水対策や減災対策に向けて河床整理を講じる緊急要望し、足柄紫水大橋付近等で河床整理をした。

問 被災後の現状把握と課題整理を踏まえた具体の対応策は。

答 庁内職員で構成する、開成町風水害対策推進プロジェクトを立ち上げ、台風シーズン前には具体的な実施項目をまとめる。

問 洪水ハザードマップを活用しての各種訓練と今後の展開は。

答 町タイムラインを改定し、町民の皆さんに周知等を図るとともに自治会等と協力をしながら引き続き洪水ハザードマップ説明会を実施する。また、マイタイムラインの必要性を意識づけ、浸水想定区域内ではモデル地区を選定し、マイタイムライン作成の支援をするなど、取り組みを進めていきたいと考えている。



下山千津子 議員



被災後の酒匂川

インフラ整備について町の考えを問う



山本 研一 議員

町民の身近な生活に大変重要な役割を果たす町道と河川などの整備は町づくりの基盤であり、人口が増加する町にとって、町道や河川などインフラ整備が急務と考える。

問 町長は、まちづくりの政策として基本となる、全町のインフラ整備をどのような位置づけで考えているのか。

答 基本的には町民の皆さんが安心して安全に生活していくための道路整備というのが特に必要と認識している。

問 北部へのアクセスは、北部活性化のポイントとなる政策だと思う。南北道路についてどのように進めていくか。

答 マックスバリュから上の間が、まだ歩道整備がされていないので、この県道をまず整備をしていただいた後、都市計画道路の上に延伸することによっていきたい。

問 幅員4メートル未満の狭小路沿で防災上問題のある接道不良住宅が多く、宅地間農地の道路密度不足、行き止まり

り道路など、適正な道路網を形成するに至っていない。この課題も大変大きな、費用もかかる課題では。

答 すべての道路を一気にやるというのは、現実的に難しいので、建築基準法によってセットバックが要件で定められており、そういった機会を捉えながら、解消に向けて取り組んでいる。

問 駅前通り線と同様に、全町にわたる町民ニーズに、ぜひ、バランスよく応えてほしいが。

答 現場を見ながらきちんと精査しバランスポイントを算定している。

問 河川の清掃等は地域住民との協働で実施することが重要であるが、農業従事者の高齢化などで、難しいと考えるが。

答 町のほうがやるような方向で、地域のひととの話し合いをしている。



町内では所々道幅が狭い道路が見受けられる

本町における幼児教育・保育の無償化に伴う課題と教育環境の充実を

人口増加や共働き家庭の増加等の影響により本町でも待機児童が発生している。更に幼児教育・保育の無償化や、今後見込まれる人口増加への対応、そして質の高い教育を支える為には、幼児教育・保育を含めた教育環境の整備も必要と考える。

問 本町における幼児教育・保育の無償化に伴う課題は。

答 令和元年10月時点で15人の待機児童が発生している。

問 現状、幼稚園と保育園の幼児の割合は半々であるが、無償化によって今後保育園の需要が増えるのでは。

答 保育所に入りたいニーズは増えるかと予測している。

問 子どもの人口が令和2年をピークに令和6年まで穏やかに減少する見込みとあるが、第二期子ども・子育て支援事業計画のベースとなる人口予測は2016年につくられた開成町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンである。



武井 正広 議員



小田急線急行停車駅になったので、想定をもう一度考え直すことが必要ではないか。

答 来年度の国勢調査を受けて人口ビジョンも現状を踏まえて見直していきたい。

問 開成幼稚園で今年度から始まった3年間教育の現状は、園児が255名で教室は全て使っており、会議室も少ない。今後、園舎のキャパシティは大丈夫なのか。

答 来年度は多用用途部屋を1教室確保できる。どんぐり会館の会議室を借りながらやりくりできる。

問 待機児童対策全般としての考え方は、令和3年度は小規模保育施設を受け皿に、同時に開成幼稚園の長時間の通年預かり保育をスタートし、令和5年度には状況によって認可保育所、または認定こども園をつくっていき子育て環境を整備していくのか。

答 その方向である。

公共施設等総合管理計画の進捗状況は



星野 洋一 議員

過去に建設された多くの公共施設等が更新時期を迎える。本町でも、公共施設等を把握し、長期的視点を持って更新、長寿命化などを計画的に行い、財政負担の軽減、平準化していかねばならず、新庁舎建設を終えた今、この先の公共施設の管理計画を推進していかなければならない。

問 建築物の管理計画の進捗状況は。

答 平成28年度に開成町公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進による持続可能な行政運営の実現を今後40年間の目標に定めた。令和2年度中に下位計画となる個別施設計画を策定する。

問 これから改修予定の主な建物、建築物はあるか。

答 更新、建てかえをする予定がある建物はしばらくはない。

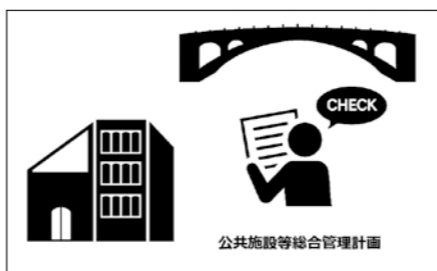
問 道路、橋りょう等のインフラ施設管理計画の進捗状況は。

答 町道舗装維持管理計画は、整備率は約50%、未整備の路線は、第五次開

成町総合計画後期基本計画の令和6年度までに全ての路線を整備する予定である。開成町橋梁長寿命化修繕計画については、町道にかかる全90橋は、一巡目の点検を完了した。現在、橋梁長寿命化修繕計画の改定作業を進めている。

問 維持管理、更新等にかかわる中、長期的な経費及び財源状況は。

答 財政計画を策定するに当たり、公共施設の保全にかかる経費を推計し計上している。令和2年度中に策定する個別施設計画は、町の総合計画との整合を図る必要があることから、初回の期間は令和3年から6年までの4年間、令和7年以降は総合計画の前期・後期に合わせて6年ごとの計画期間とする予定である。



1月随時会議

新庁舎建設工事の工期の延長

○開成町新庁舎建設工事

契約工期を令和2年1月31日までとしているところ、令和2年3月27日までとする。

理由として、新庁舎建設において、免震装置の可動部分を植栽までと設計していたところ、調整事項が発生し、必要箇所を工事するため、工期を延長するもの。〈全員賛成〉

2月随時会議

小水力発電装置修繕工事費などを審議

○令和元年度一般会計補正予算(第5号)

主な内容は、現在停止しているあじさい公園東側水路に設置されている小水力発電装置の修繕工事費や電気設備の故障により使用できなくなった福祉会館の非常用放送設備の更新工事費を計上。〈全員賛成〉

令和2年開成町議会 1月・2月随時会議議案審議結果

提出	議決日	議案名	審議結果	山下千津子	佐々木昇	武井正広	湯川洋治	茅沼隆文	星野洋一	井上三史	山本研一	石田史行	井上慎司	前田せつよ
町長	1/15	工事請負変更契約の締結について(開成町新庁舎建設工事) (◆新庁舎建設に伴う二期工事詳細設計業務委託との整合を図るため、契約工期を令和2年3月27日に延長)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2/25	工事請負変更契約の締結について(開成町新庁舎建設工事) (◆二期工事との調整により外構等を変更)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得の変更について(平成31年度開成町新庁舎議場什器・音響システム購入事業)(◆傍聴席レイアウト等の変更をするため)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和元年度開成町一般会計補正予算(第5号)について (◆福祉会館非常用放送設備更新工事費、小水力発電装置修繕工事費を計上)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◆議案の要約 ※吉田敏郎議長は採決に加わらない。 ○は賛成した者 ●は賛成しなかった者 「除」は除斥 「欠」は欠席



かるがもとの懇談会の様子

開成町議会では開かれた議会議を
目指した取り組みとして「各種団
体との懇談会」を実施しており、
令和2年1月26日に心身障害児者
と家族の会かかると懇談会を行
いました。

当日は、障がい児者の災害時避
難訓練を主題に①避難訓練につい
て ②避難などで不安に感じるこ
と ③町にお願いしたいこと（全
ての人が避難できるように）など
を意見としていただき、今後の議
会活動の一環として受け止めさせ
ていただきました。

**各種団体との懇談会で
意見交換**

心身障害児者と家族の会
かるがも

町社会福祉協議会

1/26



社協との懇談会の様子

また、同日の午後は町社会福祉協
議会との懇談会が開催されました。
冒頭では、社会福祉協議会の概
要説明があり、その後の懇談では
社会福祉協議会の現状や課題など
の質問が数多くありました。

主な内容は次のとおりです。

- ・ 社会福祉協議会への加入率を上げ
るためにどのような取り組みを
行っているのか。
- ・ 高齢者の運転免許証の返納が増
えており、タクシー等の交通手段
を使用する際の補助制度を検討し
てほしい。



研修会当日の様子

令和2年2月13日に大井町い
この村あしがらで、足柄上郡
町村議会議長会主催の議員研修
会が開催されました。

当日は、東海大学政治経済学
部政治学科教授の小林隆氏によ
る「次世代が求める基礎自治
体」～人口減少時代のあり方を
考える～を主題に、①変化を受
け入れる ②現状と課題を知る
③次世代の姿を見る ④広い
視野で考えるという4つテーマ
での講演となりました。

これからの時代は、AIによ
る技術の進歩で、暮らしの変化
が予測されます。「新しいこと
を取り入れようとする広い視野
を持つて過ごすべき」というこ
とを学びました。

**人口減少時代の
あり方を考える**

総務経済常任委員会所管事務調査報告

令和2年3月定例会議において、次のとおり常任委員会の活動報告を行いました。

公共用地の整備と今後の見通しについて

1. 調査の目的

町が所有する公共用地については、それぞれの目的を持って自治会館・公園等様々な利用がされているが、松ノ木河原多目的広場及び開成駅東口町有地としている土地については、貴重な財産が有効利用されていない現状がある。

また、使用状況については、松ノ木河原多目的広場は、あじさいまつり開催時の駐車場として利用されるのみであり、開成駅東口町有地については、ほとんど利用されていない。

よって、これらの状況から、今後の見通しについて調査検討することとした。

2. 現状把握

公共用地の整備と今後の見通しについて、所管課に出席を求め、説明聴取を行った結果、町の考えは次のとおりであった。

①松ノ木河原多目的広場については、用地の一部を防災倉庫として活用したい。

②開成駅東口町有地については、土地の評価額が土地購入時と比較し、評価額が低すぎるので当面売却の考えはない。ただし、現在、雑草対策等で町職員の手間がかかるので、駐車場としての委託を検討したい。

～検討結果のまとめ～

- 松ノ木河原多目的広場については、平成18年に取得後、あじさいまつり駐車場として利用されているだけである。今後は、防災拠点の視点で利活用を図るべきである。
- 開成駅東口町有地は、平成4年に取得後、ほとんど利活用されていない。土地の利便性を考慮すると駐車場としての活用、若しくは企業誘致を図るべきである。



町有地の有効的な活用方法を

委員長 湯川 洋治
副委員長 佐々木 昇

委員 下山千津子 前田せつよ
茅沼 隆文

議会を傍聴しませんか！



次回、6月19日(金)開催予定 6月定例会議

傍聴の際は、住所、氏名、年齢(○歳)を記入していただきます。
審議日程等は議会のホームページに掲載いたします。分からないことがありましたら、お気軽に議会事務局までお問い合わせください(84-0323)。

議会の動き

2月

- 13日 ●足柄上郡議長会議員研修会
- 19日 ●議会全員協議会
●教育民生常任委員会
- 21日 ●議会運営委員会
●2月随時会議

3月

- 3日 ●議会運営委員会
●3月定例会議(～16日)
- 16日 ●議会運営委員会
- 18日 ●議会全員協議会
●広聴分科会
- 21日 ●議会運営委員会
●広報広聴常任委員会
- 23日 ●西部清掃組合議会定例会

- 24日 ●広報広聴常任委員会
●議会運営委員会

- 26日 ●足柄上衛生組合議会定例会

4月

- 9日 ●広報分科会
- 21日 ●議会全員協議会
- 30日 ●議会運営委員会
●4月随時会議

各種団体の皆さん 議会と懇談会をしませんか！

開成町議会では、議会に対する要望の集約や議会活動の充実とご理解を図るため、町内の各種団体の皆様との懇談会を開催しています。この懇談会は随時受け付けています。開催日程、場所、懇談のテーマなどご相談させていただきますので、お気軽に議会事務局までご連絡ください。

議会と懇談会を希望される団体を随時募集しております！



茅沼議員が 特別表彰を受賞

茅沼隆文議員が全国町村議会議長会から、議会の運営及び地域の振興発展に貢献した功績を認められ、特別表彰を受賞しました。

全国町村議会議長会により設置された「第32次地方制度調査会」における「町村議会の制度・運営に関する検討委員会」において、茅沼議員は神奈川県及び関東地域の代表として活発な意見を交換しました。



茅沼議員

これらの議論の結果は、平成31年3月に発行された「町村議会議員の議員報酬等の有り方最終報告書」に、「議員定数の考え方」、「町村議会におけるなり手不足への対応」などと共に掲載されました。

また、関東町村議会議長会及び県町村議会議長会からも、同趣旨の表彰を授与されております。

編集後記



新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続く、緊急事態宣言も発令され、自粛の毎日を過ごされていると思います。卒業式、入学式をはじめ、ぼすすべての行事が縮小・中止となっております。少しでも早く感染が収束し、普段の生活に戻れることを心から願うばかりです。

一方で、5月7日には新庁舎が開庁します。日本初のZEB（ネット・ゼロ・エネルギービル）庁舎であり、これが町のシンボルとなり、人と人とのつながりを一層深める場となるよう期待します。

6月には新しい議場での最初の定例会議が行われます。今後も開かれた議会を目指し取り組んでまいります。

(武井)



議会のホームページはこちらからご覧ください。

開成町議会発行 編集／広報広聴常任委員会（広報分科会）

委員長 井上 三史 委員 佐々木 昇 星野 洋一
副委員長 山本 研一 武井 正広 井上 慎司

議会だよりに掲載する広告を募集しています！

開成町議会では、町民サービスの向上と民間企業等との協働による地域の活性化を目指すことを目的に、議会だよりに掲載する有料広告を募集しています。

有料広告に関する掲載基準や申込書などは、議会ホームページに掲載しています。
(1 枠につき 1 回 5,000 円 ※減免規定あり)

広告

町内のみなさまには、(し尿・浄化槽清掃・ごみ収集等)で大変お世話になっています
当社では、この町をきれいにし次世代の子にやさしい環境づくりに努力していきます

(有)共和衛生工業

広告